



長久手は市民の誇り。市民は長久手の命。 市議を志した当初からの想いです。

私が長久手に生を受けた1974年（昭和49年）の本市の人口は1万人余、現在2017年は5万6千人、わずか40年で人口は5倍を超えました。古き良きを知る市民、そして新しい良きを望む市民、市民皆様の融合こそが長久手の発展となります。

「新しいまち、若いまち長久手」その礎は「伝統あるまち、歴史あるまち長久手」です。長久手に長く住んでおられる市民の皆様、長久手で新しい人生を選んで頂いた市民の皆様に「わがまち長久手」と誇りに想ってお暮しいただくまちづくりを目指します。

提案が実現！

ジョグパトが始動！！

私はトレーニングやランニングが好きで16歳の頃より市内をランニングさせて頂いております。

まちを見ながら走る中、本市内での近年の人口の増加に伴い増えて参りました犯罪にも長い間憂いを感じていました。市内を走りながら「何とかならないのかな。大好きなまちに犯罪が多いのは悲しいな」と、そんな中思いつき、独りで始めたのがランニングとパトロールを一つにした自称「ランパト」でした。市内を走っていると朝昼晩とランニングをしている人がいる。ご夫婦で仲良くウォーキングを楽しむ方がいる。ご自慢の愛犬とお散歩をしている方がいる。お買い物に向かわれる方がいる。お子様を塾に、ご主人を駅へお迎えに向かわれる方がいる。市内には沢山の「人出、人の目」がある事に気づきました。市民が防犯に関心をもって走れば、歩けば、変わるはず。空き巣などの侵入犯罪の多い時間帯は夜間よりも人が活動している時間帯です。朝7時から夜22時に多く、特に留守が判りやすい夕方の16時から夜22時ごろです。そんな時間帯にいかに防犯の目を。気軽に防犯を。犯罪を起こしにくい風土を。

そんな思いで市議会に席を置かせて頂いて1年目、議会で2度目の一般質問の場となった平成27年第3回長久手市議会定例会において「市民の健康増進と地域防犯を融合させた活動について」として先進事例のつくば市での「ジョグパト」を例に提案をさせて頂きました。

それが **このたび、実現致しました。**

ジョグパトへの私の想いは気軽に、自由に、負担が無いように。また夜間や独りでのジョギングやウォーキングも市の貸与する反射材付の目立つ「あいさつベスト、防犯ベストや特製のバンダナ」を着用し活動して頂くことでご本人の安全も守ることになります。これまで実現に向け沢山の会議やワークショップにご参加頂いてお取り組みを頂いた、市民の皆様、ボランティア団体の皆様や市民・行政の有志の「なでうぼ」の皆様、本当にありがとうございました。長久手市内を防犯、健康という共通の目的意識を持った市民ランナーやウォーキング、愛犬とお散歩の方でいっぱいにして、市民皆様といっしょになって長久手から犯罪を減らしていけたらと願っています。



長久手今昔写真館はお休みします。

長久手 ジョギングパトロール

検索

長久手市公式ホームページから
ジョギングパトロールでも検索できます。

山田けんたろう プロフィール

- 所属党派：長久手グローバルネット
- ・教育福祉委員会 委員
- ・議会だより編集特別委員会 委員
- ・尾張旭市長久手市衛生組合 議会議員
- ・長久手市都市計画審議委員
- ・自由民主党愛知県支部連合会 青年局 研修副委員長
- ・自由民主党長久手支部 青年部
- ・長久手市商工会 青年部
- ・一般社団法人 愛知中央青年会議所 第33代 理事長
- ・第41回 JC 青年の船「とうかい号」チームリーダー
- ・第49回 名古屋まつり 三英傑 第30代 織田信長

山田けんたろう 経歴

1974年（昭和49年）7月
長久手市喜婦嶽出身の42歳
長湫東保育園 長久手西小学校
長久手南中学校（剣道部）出身
愛知産業大学 造形学部 建築学科卒
大学卒業後は愛知県内の建設会社に就職、現場監督職から営業職を歴任。
29歳の時、名古屋まつり第30代信長に最年少として選出される。
翌年30歳で家業を学ぶため長久手で地域密着型に。家業の建築会社を一から学ぶため資材の運搬撤収、現場管理職から始め、会社の経営を経て、現在は市内で不動産を家族やお世話になる地元の皆様と営んでいます。
◆趣味 ジョグパト トレーニング 読書 映画鑑賞
◇想い 家族と過ごす時間

じょ
怒

(人を思いやる心)

いちごいちご
一期一会

(出会いを大切に)

他界した父より人生でただ一度、
頂いた手紙にあった言葉。

長久手市議会議員 山田けんたろう 発行

市民の皆様のお声をお待ちしています。
お気軽にお声がけ下さい。

〒480-1117 長久手市喜婦嶽 305 番地
TEL : 63-6688 FAX : 62-0370

Web
<http://yamada-kentaro.com>

E-Mail
nagakute@yamada-kentaro.com

f [kentaro0408@facebook.com](https://www.facebook.com/kentaro0408)

LINE kentaro1713

後援会へご入会も随時
お待ちしております。



山田けんたろう
ホームページ

第 3 回定例会 一般質問

会期日程 平成 28 年 8 月 31 日～9 月 28 日

長久手市の道路交通と交通安全について

- ① 交通事故多発交差点など市内に危険箇所はいくつあるのか。またその対策はどのような形で取っているのか。
- ② 本市南部（市が洞地区、片平地区）との連絡道路は概ね 3 か所であるが、その交通集中に関して本市の見解はどのようなか。また対策はどのようなか。
- ③ 過去に死亡事故もあり今後も事故の多発する危険な交差点において、市民からの要望があるのにも関わらず信号機等が付かないなど具体的な対策ができないのは何故か。
- ④ 今後、イオン、イケアの開店を控え、本市の対策は十分であるか。
- ⑤ イケアと協議をして市外から往来する車利用のお客様に普段から交通量の適度な名古屋 IC と長久手 IC 間（東名高速道路、名古屋瀬戸道路）の利用を促し、市内の交通集中、渋滞解消にいかすことはできないか。
- ⑥ 本市の都市計画では、今まで静かであった住宅街の生活道路や小さな交差点や狭い橋へ近年の開発により多くの車が致し方ない形の導線で導かれているその見解と今後の対策はどのようなか。



長久手市で唯一交通事故多発交差点対策 (ACT-45) に指定されている交差点。急速なまちの発展により交通の量も流れも変わった。市内の信号機の無い交差点では子どもたちがタイミングをみて慌てて横断歩道を渡る危険な光景も少なくない。



東名高速道路を隔てた長久手市の市が洞、片平地区の本市南部をつなぐ道路は概ね 3 か所であり常に交通集中が起きている。大型ショッピングモールの開店や 2017 年は秋に大型家具店の開店も控えています。本市の交通はどうなるのでしょうか。

塵芥収集車（ごみ収集車）を利用した注意喚起について

- ① 安心メール、長久手市行方不明高齢者保護ネットワークの登録状況と本年度の配信状況はどのようなか。
- ② 塵芥収集車（ごみ収集車）のメロディーに関する問い合わせはあるか。また何故、現在のメロディーなのか取り決めはあるのか。
- ③ 事件や事故、災害や徘徊行方不明者の発生、また詐欺などの犯罪の注意喚起を塵芥収集車（ごみ収集車）のスピーカーを利用して在宅市民にお知らせをすることはできないか。
- ④ ドライブレコーダーを装備していない委託業者の塵芥収集車（ごみ収集車）にドライブレコーダーを貸与し、安心安全にいかすことはできないか。

障がい者の生活支援について

- ① 本年 7 月に神奈川県相模原市の障がい者福祉施設で大変に悲しい事件が起きたが、本市においてその後の対応はどのようなか。また各事業所での対応と対策はどのようなか。
- ② 障がい者福祉施設をはじめ市内関係施設において防犯の視点から対応マニュアルはあるか。また、なければ今後マニュアルの作成や職員の研修は行っていくのか。
- ③ ながふく障がい者プランの農福連携事業において障がいを持たれた方が丹精を込めて育て収穫した農作物の販路、納入先の拡大をすることはできないか。

古戦場再整備基本計画策定について

- ① 8 月 5 日から 20 日まで本計画の取り組みで「夏休みワイワイ古戦場公園意見交換会」が行われたが、市民の反応と意見はどのようなものがあったか。
- ② 会派において視察した大阪歴史博物館で AR (Augmented Reality / 拡張現実) アプリを活用した展示があった。小牧・長久手の戦いは世界的、全国的にも有名な戦いである。また長久手での戦いは野戦である。8 月 17 日に会派で提出した要望書のとおり、国外や日本全国から訪れる観光客や地元の市民が子どもから大人まで、イメージしやすいように AR のシステムを導入してはどうか。公園内と公園外の周辺の景観も含め、ただ置き並べ、見せるのではなく「魅せる展示」を行ってはどうか。

一般質問の詳細に関しては、長久手市公式ホームページから長久手市議会をクリック。
一般質問録画中継より山田けんたろうをご検索下さい。

長久手市議会 検索

第 4 回定例会 一般質問

会期日程 平成 28 年 11 月 30 日～12 月 21 日

全国で高齢者の運転による事故が多発している。悲しく痛ましい事故をこれ以上起こさないよう、高齢者ドライバーを取り巻く環境の改善と市民の交通安全環境の向上、そして高齢者自身の安全と気軽に外出し暮らしやすい生活環境の確保を願い、質問をしました。

高齢者の自動車運転について

- ① 市内の高齢者（65 歳以上）の運転免許証保持者の数はどのようなか。
- ② 通学路の交通安全対策はどのようなか。見直しは行っているか。
- ③ 運転免許証自主返納の状況はどのようなか。
- ④ 現在の運転免許証自主返納後の特典及び自家用車に代わる移動手段はどのようなか。
- ⑤ 福祉有償運送事業を拡大する事やタクシー事業者と連携し、市内で小回りの利く移動手段としないか。
- ⑥ 運転経歴証明書が使用できる範囲を拡大しないか。
- ⑦ 市独自に高齢者向けの交通安全講習などの車の安全な運転を再確認する場や啓発活動の機会を設けないか。

ひとこと解説

質問①では、本市の高齢者（65 歳以上）の運転免許証保持者の数は 5,573 人であるというご答弁を頂きました。現在、全国の 65 歳以上の高齢者の運転免許保有者数は 1,710 万人を超えています。愛知県では 101 万人を超え、県内の運転免許保持者の 20% を占めます。国や警察庁は運転免許の自主返納を促進しているが前年度は約 27 万人に留まっています。その背景には「車が無いと生活が成り立たない」「車に代わる移動手段が無い」「私は大丈夫」が大半のご意見です。本市の高齢者が加害者となる事故を防ぐため運転免許の自主返納の促進や私が思う一番大切なところですが、運転免許証自主返納後の高齢者の外出促進、移動手段の構築など生活の基盤を整備することが急務であること、また免許更新時以外にも運転技術を学ぶ機会を作ってほしいと質問をさせて頂きました。

男性の相談窓口について

- ① 長久手市男女共同参画基本計画 2017（長久手市 DV 防止基本計画を含む）～明日へ未来へ N プラン～策定以後の取組状況について伺いたい。
- ② 男性からの相談の状況や現在の対応はどのようにされているか。
- ③ 休日やお勤め後の時間にも対応できる「男性専用の相談窓口」を開設しないか。

名古屋市での先進事例である男性の相談窓口。男女共同参画社会基本法、女性活躍推進法が定められ、男女共同、平等が推し進められる中、近年はイクメンや主夫などの造語もあるように仕事と同じく家庭を大切にする男性も多い、そんな中、仕事と家庭との狭間でイクメンブルーや仕事上の苦悩でうつを発症する男性も増えている。男性はどこへ、誰へ相談すれば良いのか。昨年の全国における自殺者の数は 2 万 4,025 人、男性の数は 1 万 6,681 人で全体の 69.4 パーセントにのぼる。

消防の広域化について

- ① 消防広域化は平成 30 年 4 月を目標としているが現在の進捗状況はどのようなか。
- ② 予防、救急などの啓発活動や災害時情報メールなどの市民向けのサービスや災害時の防災無線の扱いはどのようなになるか。
- ③ 各医療機関との連携や傷病者の受入れ体制、救急支援、メディカルコントロール体制に影響はないか。
- ④ ドクターカーの運用や位置づけに関してはどのようなになるか。
- ⑤ ドクターカーの出勤に関して、ドクターカーを所有する医療機関との連携に支障は無いのか。広域化に合わせた対応の拡大はあるか。

ひとこと解説

平成 30 年を目標に消防の広域化が行われようとしています。管轄エリアは、本市 約 21 km² (約 5 万 6 千人)・尾三消防組合管内 (日進市、東郷町、みよし市) 約 85 km² (約 19 万人)・豊明市約 23 km² (約 6 万 9 千人) の約 129 km² (31 万 5 千人) を管轄することになります。これまでに地域密着型であった消防・救急が広域化によって初動対応に遅れが出ないか大規模災害時の対応に支障は無いのか。また本市の救命で大きく恩恵を受けている愛知医科大学病院は、大規模災害時は（基幹災害病院）に指定されており大規模災害に発災時は広域から負傷者を受け入れます。広域化によって、愛知医科大学に依存する本市の市民が最寄りの愛知医大ではなく遠隔搬送されることは無いのか。質問をさせて頂きました。